

**SUPER** / **GREAT**

**FP.FS.FU.FV.FY**

ブレーキ摩耗点検方法および  
ブレーキシステムに関するデータ



MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

# ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ

## 目次

1	はじめに	1-1
2	警告表示	1-1
3	点検・整備をするときの注意事項	1-2
4	車台番号	1-3
5	ブレーキ摩耗点検方法	1-5
	その1 ホイール＆タイヤの取外し	1-5
	その2 ホイールハブ&ブレーキドラムの取外し・分解	1-6
	その3 ブレーキライニングの点検	1-17
	その4 ブレーキドラムの点検	1-18
	その5 ホイールハブ &ブレーキドラムの組み立て・取付け	1-19
	その6 ブレーキシュークリアランスの調整	1-33
	その7 タイヤ＆ホイールの取付け	1-34
6	ブレーキシステムに関するデータ	1-37

	<p>ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ はじめに、警告表示、点検・整備をするときの注意事項</p>	
--	---	--

## 1. はじめに

- 本書は、協定規則第13号（貨物車等の制動装置）に則り、ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータを掲載するものです。
- 本書の内容をよくお読み頂き、十分理解されてからご使用ください。
- ブレーキ部品の脱着は、道路運送車両法施行規則の分解整備に該当するため、必ず自動車分解整備事業者で実施してください。また、お客様ご自身の作業による、損害、不具合などについては、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 思わぬ事故やけがを防ぐために、本書に記載されている注意事項及び、三菱ふそう特殊工具を使用した作業要領を順守してください。また、交換部品や油脂類は、必ず三菱ふそう純正部品を使用してください。三菱ふそう特殊工具及び純正部品の購入につきましては、お近くの三菱ふそう販売店にお問い合わせください。

## 2. 警告表示

本書の中で使用している警告表示は次のとおり。警告表示のある項目は指示に従って作業には十分留意する。

### △ 危険

指示に従わないと、重大な人身事故に至るもの。

### △ 警告

指示に従わないと、重大な人身事故に至るおそれがあるもの。

### △ 注意

指示に従わないと、傷害を受けたり物損事故のおそれがあるもの、部品またはシステムの損傷や機能低下のおそれがあるもの。

	<b>ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ</b> <b>はじめに、警告表示、点検・整備をするときの注意事項</b>	
--	---	--

### 3. 点検・整備をするときの注意事項

#### △ 危険

- 万一、車が動き出すと危険なので、整備をする場所は地面が平坦で固い場所を選び、必ず輪止めをかけてから作業を行うこと。
- 駐車ブレーキレバーを確実に駐車位置にロックさせ、レンジセレクターは N: 位置にしておくこと。
- 必ずエンジンを止めて、スターターキーを抜き取っておくこと。
- 電気系統作業をするときは必ずバッテリーのマイナス端子を外しておくこと。
- ジャッキアップは、取扱説明書に記載されている「タイヤの交換」を参照し適切に行うこと。
- 火の気がなく、風通しの良い整備作業場で作業を行うこと。
- 運転直後のエンジン本体、排気管、ラジエーター等の各部は高温になっているので、やけどをしないよう注意すること。点検する時はエンジン等が冷えた状態で行うこと。
- 各オイル類、オイルフィルター類の交換は、それぞれのオイルが十分冷えてから作業を行うこと。高温の状態で作業するとやけどする恐れがある。
- ディーゼルエンジン車の燃料ライン、燃料フィルターを整備する時は、燃料キャップを取り外すこと。燃料システムには高い圧力がかかっているため、この圧力を抜かないと燃料があふれたり、これに引火し、火災を招くおそれがある。
- 換気の悪い車庫、屋内ではエンジンをかけたままにしないこと。一酸化炭素中毒を起こすおそれがある。

#### △ 警告

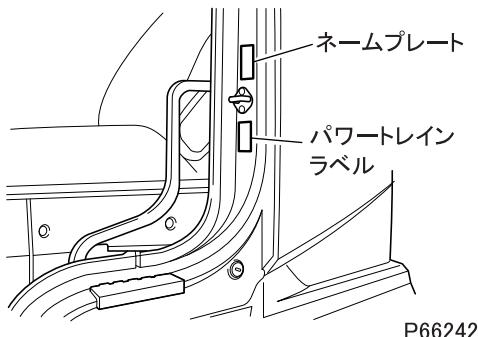
- 交換後の各種部品、油脂液類等の廃棄・処理は地方自治体の条例または規則に従って適切に処置すること。
- 取り外した部品や工具をエンジンルーム内に置き忘れないこと。万一眼鏡類などにからまると装置を損傷、破損するおそれがある。
- 汚れた水や、ほこりなどはフルード / オイルの有効性を著しく弱め部品損傷の原因になる。取り外した部品は、ゴミや異物が混入しないよう十分に注意して補給、交換を行うこと。
- 作業後、各部が正常であるか確認すること。

#### △ 注意

- 各オイル類、フィルター類、冷却液等の交換作業をするときは、あらかじめ受け皿を用意して、その中に排出すること。

## 4. 車台番号

- ネームプレート及びパワートレインラベルには、車台番号が表示されている。



P66242

届出型式							社内記号					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
2 K G - F V 7 0 G J X □									3	□	V	A

①	公害規制適合識別記号	2KG	平成 28 年排出ガス規制適合 平成 27 年度重量車燃費基準達成車
		2PG	平成 28 年排出ガス規制適合 平成 27 年度重量車燃費基準達成車 + 5% 低減
		2RG	平成 28 年排出ガス規制適合 平成 27 年度重量車燃費基準達成車 + 10% 低減
②	基本型式	F	キャブオーバートラック
③	駆動方式	P	4×2
		S	8×4
		U	6×2
		V	6×4
		Y	6×4(低床)
④	開発順序	7	スーパーグレート
⑤	シャシー、サスペンション(前 / 後)	0	リーフサス、トラニオンサス
		4	リヤエアサス
		5	総輪エアサス
⑥	エンジン	G	6S10 系
		H	6R20 系
⑦	ホイールベース	D	2900 ~ 3200mm
		E	3200 ~ 3500mm
		G	3800 ~ 4100mm
		J	4400 ~ 4700mm
		M	5300 ~ 5600mm
		N	5600 ~ 5900mm
		P	5900 ~ 6200mm
		R	6200 ~ 6500mm
		T	6800 ~ 7100mm
		U	7100 ~ 7400mm
⑧	車両総質量	V	7400 ~ 7700mm
		X	20 トン以下
		Y	22 トンクラス (FS, FU, FY の車両総質量 23.5 トンは Y)
		Z	~ 25 トン

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	車台番号	

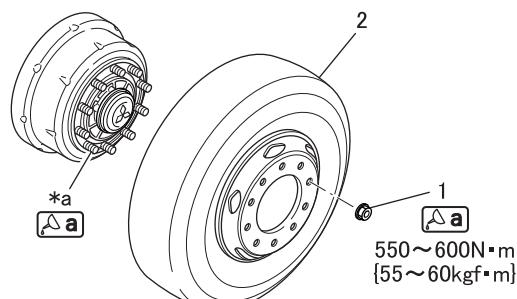
⑨	用途及び形状(1)	なし	カーゴ
		D	ダンプ
		K	建機運搬仕様
		M	ミキサー
		R	セミトレ
⑩	エンジン類別(1)	1	6S10T1(260kW {354PS} ) 又は 6R20T1(265kW {360PS} )
		2	6S10T2(280kW {381PS} ) 又は 6R20T2(290kW {394PS} )
		3	6R20T3(315kW {428PS} )
		4	6R20T4(338kW {460PS} )
⑪	エンジン類別(2)	なし	標準仕様
		X	低公害仕様(燃費基準達成)
⑫	用途及び形状(2) 注:用途・形状記号が重複する場合は、優先順位の高い記号を優先する。(S, Vの順)	S	ショートキャブ
		V	ShiftPilot
⑬	グレード	A	エコ
		B	プロ
		C	プレミアム

## 5. ブレーキ摩耗点検方法

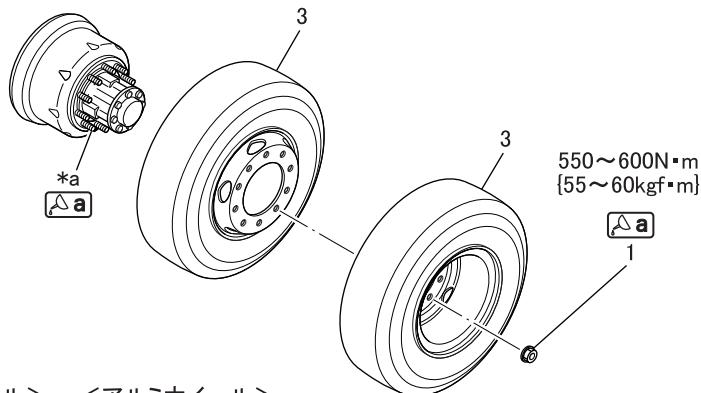
### その1 ホイール & タイヤの取外し

#### 構成部品

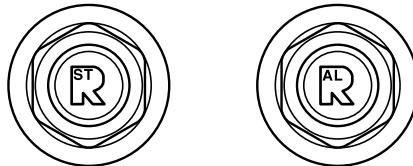
&lt;シングルタイヤ&gt;



&lt;ダブルタイヤ&gt;



&lt;スチールホイール&gt; &lt;アルミホイール&gt;



P111588

- 1 ホイールナット
- 2 タイヤ(その2参照)
- 3 タイヤ<ダブルタイヤ>(その2参照)

\* a : ハブボルト

#### 準備品

##### 油脂類

記号	種類	備考
△a	三菱シャシーグリース、三菱ホイールベアリンググリースまたはふそうエンジンオイル	

#### 取外し要領

取付け要領の逆の手順で取外しを実施する。

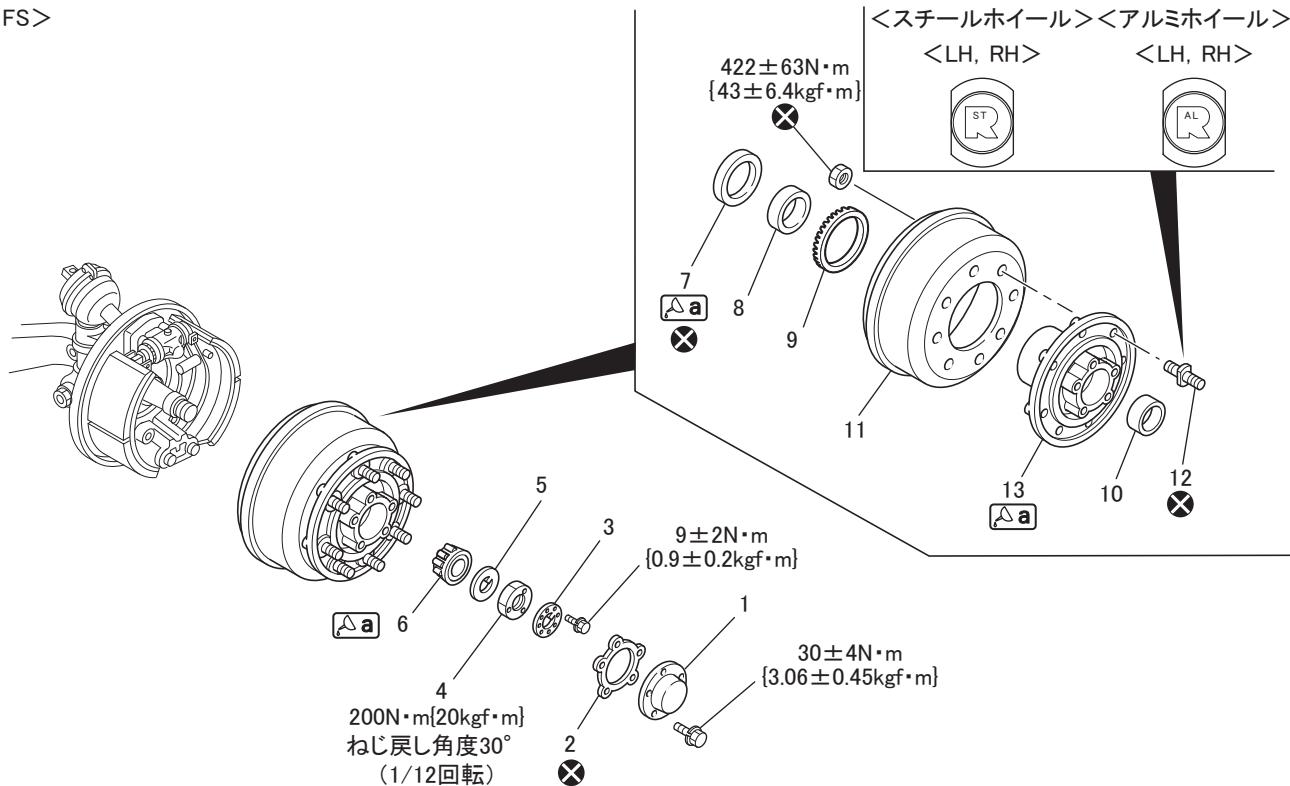
##### △ 注意

- タイヤの取外しは必ず平坦で地盤が陥没しない場所で行う。
- 後輪の内側タイヤが木材などに乗り上げた状態で外側タイヤを取り外さない。
- タイヤを取り外さないアクスルのタイヤに輪止めをする。
- ホイールナットは一気に外さないで、ボルトから外れる手前(手で緩む程度)で止めておく。
- タイヤが転倒するおそれがあるので、頂点付近のナットはねじ山を4~5山以上掛けておく。

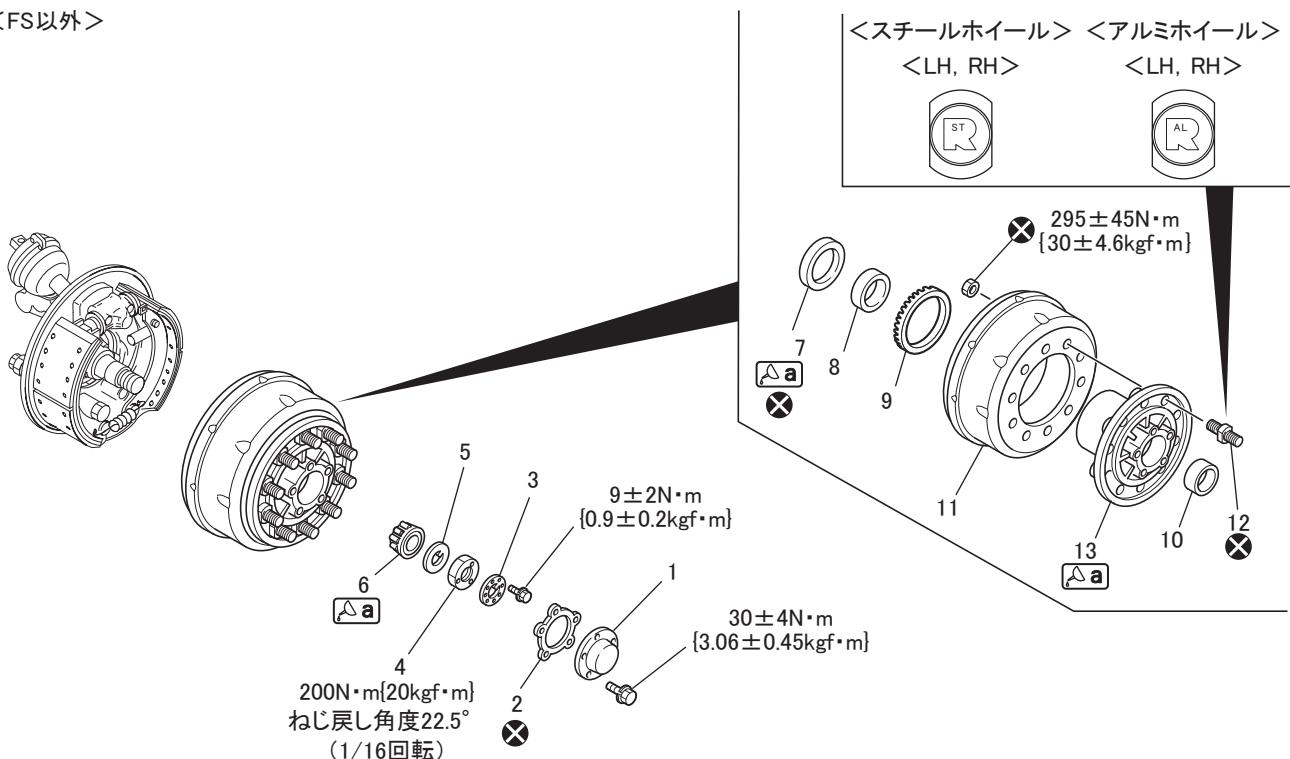
その2 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し・分解  
<フロント>

**構成部品**

<FS>



<FS以外>



- 1 ホイールハブカバー
- 2 パッキン
- 3 ロックプレート
- 4 ロックナット
- 5 ロックワッシャー

509257

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その2 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し・分解	

- 6 アウターベアリングインナーレース
- 7 オイルシール
- 8 インナーベアリングアウターレース
- 9 ABS ローター
- 10 アウターベアリングアウターレース
- 11 ブレーキドラム
- 12 ハブボルト
- 13 ホイールハブ

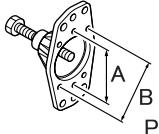
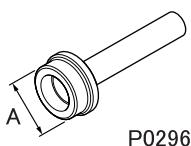
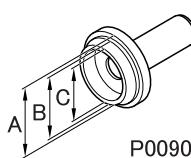
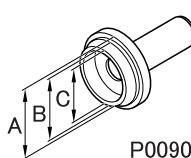
☒: 再使用不可部品

### 準備品

#### 油脂類

記号	種類	備考
☒ a	三菱ホイールベアリンググリース	

#### 特殊工具 (単位 : mm)

記号	名称	形状	部品番号	用途
☒ a	ソケットレンチ		A : 70 (FS), 75 (FS以外) P00900	< FS > MH061528 < FS以外> MH061530 ロックナットの脱着
☒ b	ホイールハブプレー		A : φ130 B : φ120 P00902	MH061433 または MH061458 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し
☒ c	ABS オイルシールインストラ		A : φ125 (FS), φ140 (FS以外) P02968	< FS > MH062738 < FS以外> MH062666 オイルシールの取付け
☒ d	インナーベアリングインストラ		A : φ128 (FS), φ138 (FS以外) B : φ115 (FS), φ125 (FS以外) C : φ110 (FS), φ120 (FS以外) P00903	< FS > 03724-62000 < FS以外> 03723-22000 インナーベアリングアウターレースの取付け
☒ e	アウターベアリングインストラ		A : φ98 (FS), φ108 (FS以外) B : φ87 (FS), φ98 (FS以外) C : φ82 (FS), φ92.5 (FS以外) P00903	< FS > 03724-63000 < FS以外> 03723-23000 アウターベアリングアウターレースの取付け

### 取外し要領

#### △ 注意

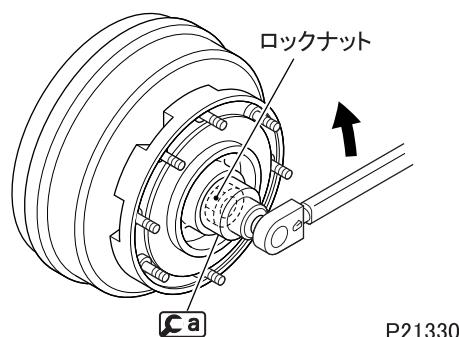
- ブレーキの作動不良になるのでブレーキのライニング表面及びホイールハブ & ブレーキドラムのブレーキドラム内面に油脂類を付着させない。

#### (1) 取外し前の作業

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その2 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し・分解	

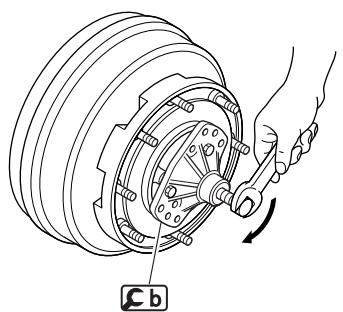
- (1.1) スプリングチャンバー付は車両が動かないよう固定した後、パーキングブレーキを解除してから作業を行う。
- (2) 取外し：ホイールハブカバー、ガスケット、ロックプレート
- (2.1) ホイールハブカバー取付けボルトを取り外し、ホイールハブカバー及びガスケットを取り外す。
- (2.2) ロックプレート取付けボルトを取り外し、ロックプレートを取り外す。
- (3) 取外し：ロックナット
- (3.1) [C a]を使用してロックナットを取り外す。

[C a]	ソケットレンチ	< FS > MH061528 < FS 以外 > MH061530
-------	---------	---------------------------------------



P21330

- (4) 取外し：ホイールハブ & ブレーキドラム
- (4.1) ブレーキドラムに段付き摩耗があり、ホイールハブ & ブレーキドラムが外れない場合は次の要領で取外す。  
取外し後、ブレーキドラムを修正または交換する。

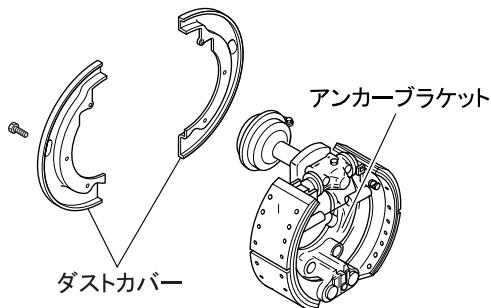


P00917

- (4.2) [C b]を使用してホイールハブ & ブレーキドラムを取り外す。

[C b]	ホイールハブプラナー	MH061433 または MH061458
-------	------------	-----------------------------

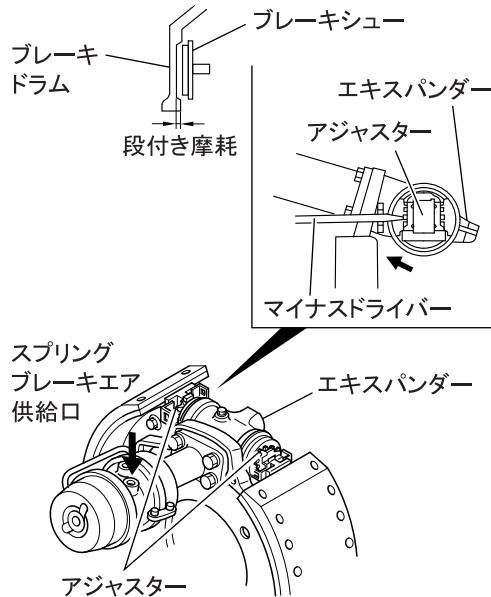
- (4.3) アンカーブラケット裏のダストカバーを取り外す。



P112209

- (4.4) スプリングチャンバー付はブレーキチャンバーのスプリングブレーキエア供給口に 640kPa {6.5kgf/cm<sup>2</sup>} のエア圧をかけスプリングブレーキを解放する。

	<b>ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ</b> <b>ブレーキ磨耗点検方法 その2 ホイールハブ &amp; ブレーキドラムの取外し・分解</b>	
--	--	--



P103864

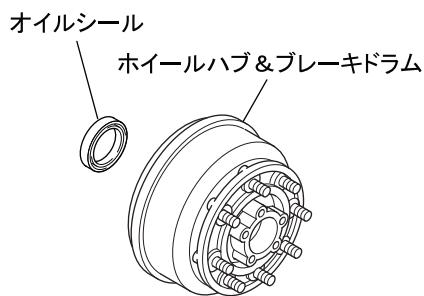
- (4.5) エキスパンダーのアジャスターをマイナスドライバー等で矢印方向に回し、ブレーキドラムとブレーキシューのすきまを広げホイールハブ＆ブレーキドラムを取り外す。  
 (4.6) アンカーブラケット裏のダストカバーを取付ける。

**△ 注意**

- マイナスドライバーを差し込むときは、エキスパンダーのブーツを損傷させない。

**(5) 取外し：オイルシール**

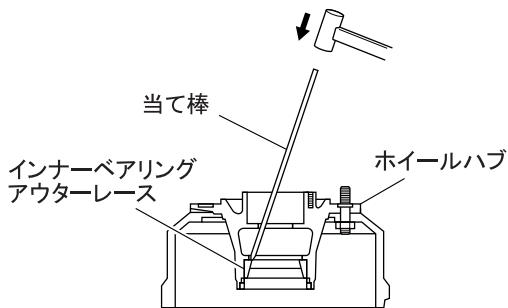
- (5.1) オイルシールを取り外す。



P112210

**(6) 取外し：インナーベアリングアウターレース**

- (6.1) インナーベアリングアウターレースをホイールハブの切り欠き部から、均等にたたいて取外す。

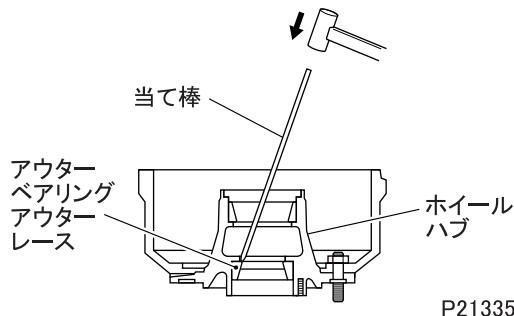


P21333

**(7) 取外し：アウターベアリングアウターレース**

- (7.1) アウターベアリングアウターレースをホイールハブの切り欠き部から、均等にたたいて取外す。

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その2 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し・分解	



P21335

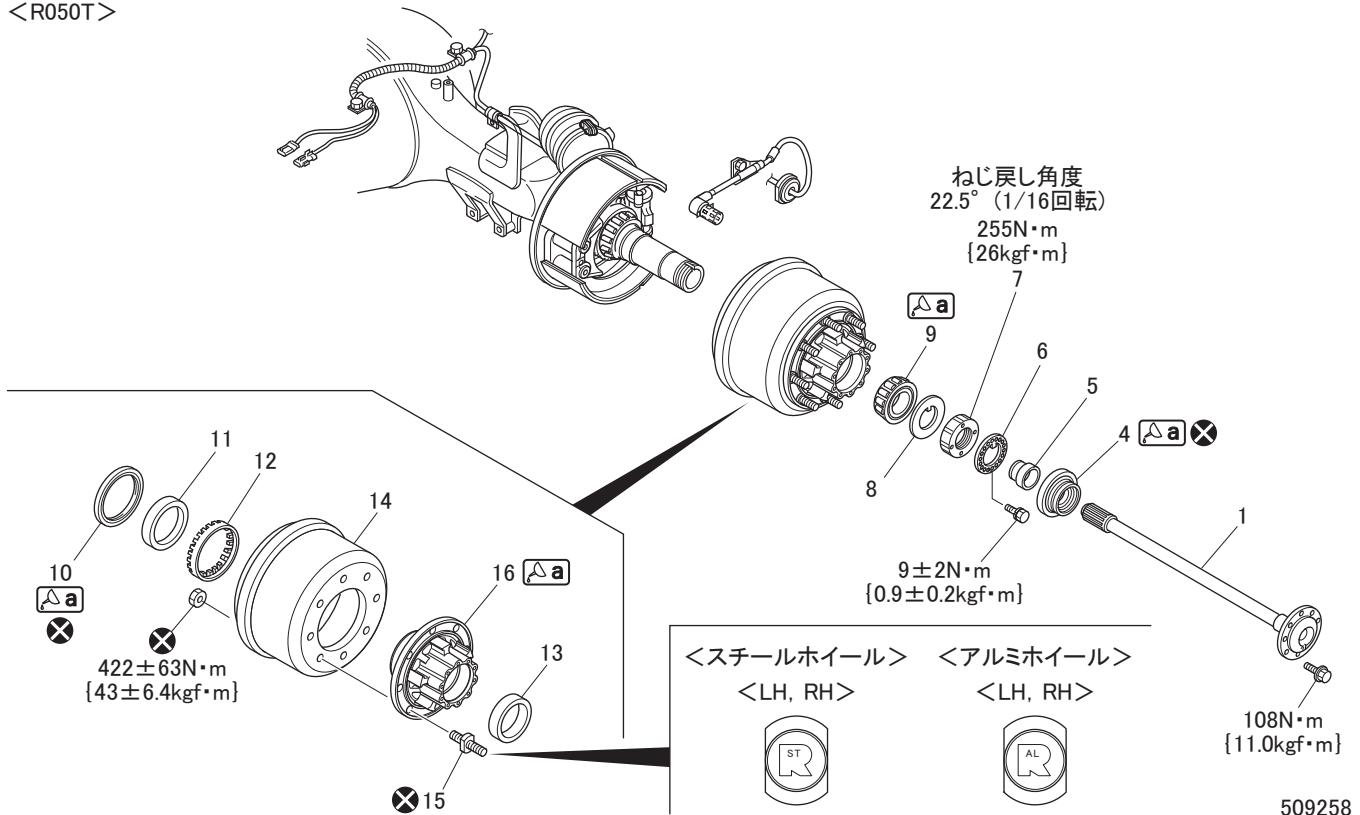
#### (8) 取外し : ブレーキドラム, ハブボルト

(8.1) ハブボルト取付けナットを取り外して、ホイールハブからブレーキドラム及びハブボルトを取り外す。

<リヤ>

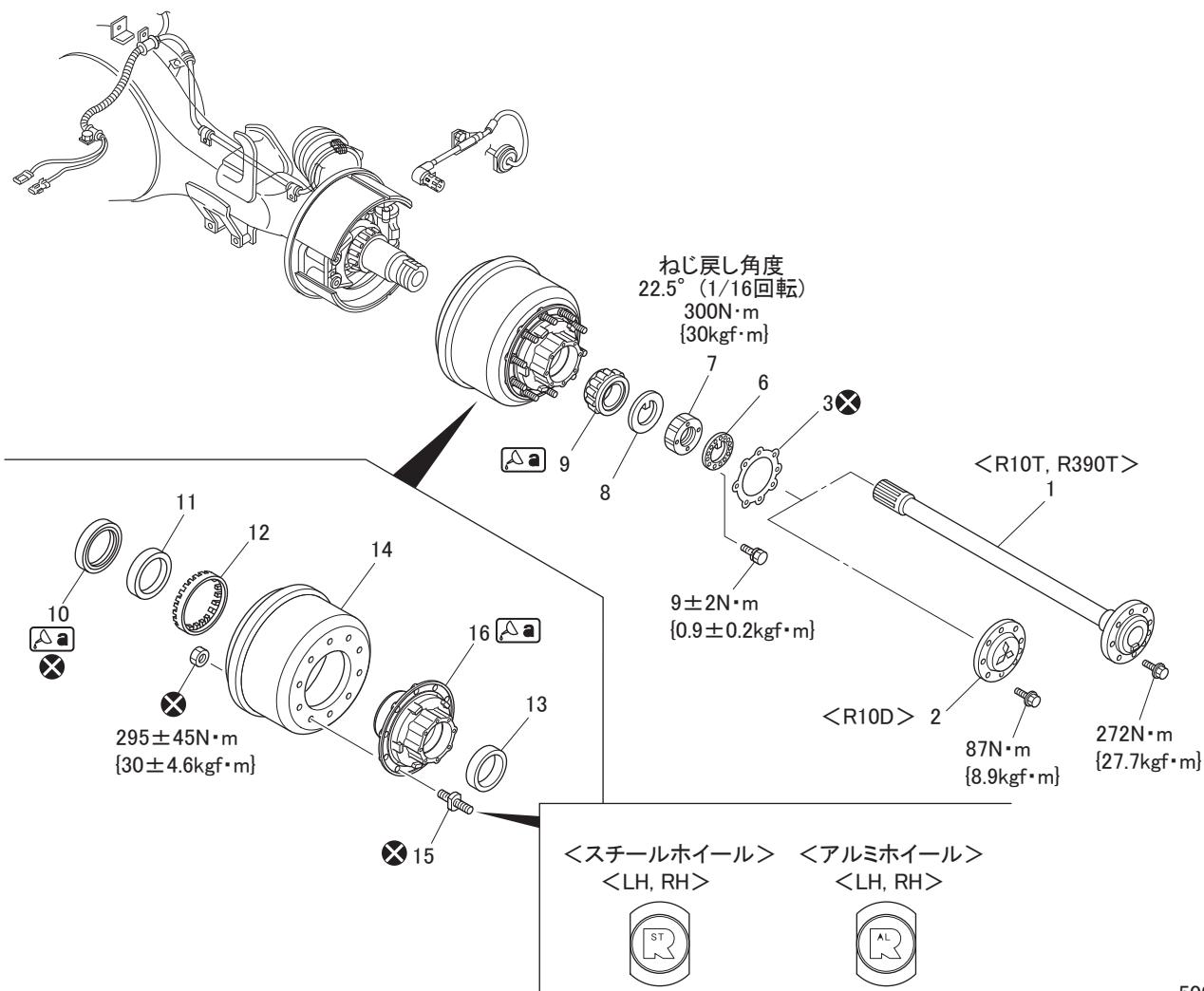
### 構成部品

<R050T>



	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その2 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し・分解	

<R10T, R390T, R10D>



509259

- 1 アクスルシャフト< R10T, R390T >
- 2 リヤホイールカバー< R10D >
- 3 ガスケット< R10T, R390T, R10D >
- 4 オイルシール< R050T >
- 5 オイルシールリテナー< R050T >
- 6 ロックプレート
- 7 ロックナット
- 8 ロックワッシャー
- 9 アウターベアリングインナーレース
- 10 オイルシール
- 11 インナーベアリングアウターレース
- 12 ABS ローター
- 13 アウターベアリングアウターレース
- 14 ブレーキドラム
- 15 ハブボルト
- 16 ホイールハブ

※: 再使用不可部品

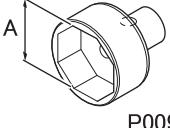
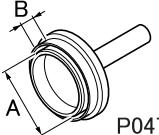
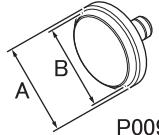
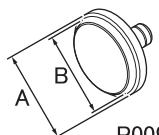
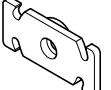
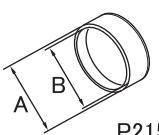
### 準備品

#### 油脂類

記号	種類	備考
Ⓐa	三菱ホイールベアリンググリース	
Ⓑb	スリーボンド 1110B またはロックタイト 575	

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
ブレーキ摩耗点検方法 その2 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し・分解		

特殊工具 (単位 : mm)

記号	名称	形状	部品番号	用途
Ca	ソケットレンチ	 A : 95 (R050T), 120 (R10T, R10D, R390T) P00969	< R050T > MH061597 < R10T, R10D, R390T > MH061536	ロックナットの脱着
Cb	ホイールハブプラー	 P00973	< R050T > MH061458 < R10T, R10D, R390T > MH061433 または MH061458 または MH062145	ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し
Cc	オイルシールインストラ	 A : $\phi$ 130 (R050T), $\phi$ 155 (R10T, R10D), $\phi$ 160 (R390T) B : 2.5 (R10T, R10D, R390T) P04719	< R050T > MH062690 < R10T, R10D, R390T > MH062057	オイルシールの取付け
Cd	ホイールハブインナーベアリングインストラ	 A : $\phi$ 128 (R050T), $\phi$ 158 (R10T, R10D) B : $\phi$ 122.5 (R050T), $\phi$ 146 (R10T, R10D, R390T) P00974	< R050T > MH061010 < R10T, R10D > 03723-21000 < R390T > 03724-25000	インナーベアリングアウターレースの取付け
Ce	ホイールハブアウターベアリングインストラ	 A : $\phi$ 118 (R050T), $\phi$ 148 (R10T, R10D), $\phi$ 148 (R390T) B : $\phi$ 112 (R050T), $\phi$ 138 (R10T, R10D) P00974	< R050T > MH061012 < R10T, R10D > 03723-20000 < R390T > 03724-26000	アウターベアリングアウターレースの取付け
Cf	ABSハブストッパー	 P04677	< R10T, R390T > MH062058	ホイールハブ & ブレーキドラムの取付け
Cm	アダプター	 A : $\phi$ 70 (R050T), $\phi$ 95 (R10T, R10D, R390T) B : $\phi$ 66 (R050T), $\phi$ 91 (R10T, R10D, R390T) P21510	< R050T > MH061962 < R10T, R10D, R390T > MH061103	前記ホイールハブプラー及びギヤプラー使用時併用

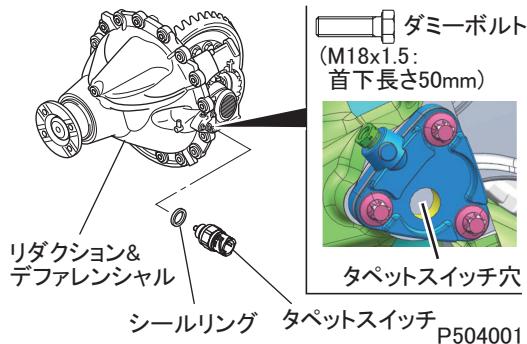
## 取外し要領

### △ 注意

- ブレーキの作動不良になるのでブレーキのライニング表面及びホイールハブ & ブレーキドラムのブレーキドラム内面に油脂類を付着させない。
- 取外したブレーキチューブは栓をしてホコリ等が入らないようにする。

### (1) 取外し前の作業

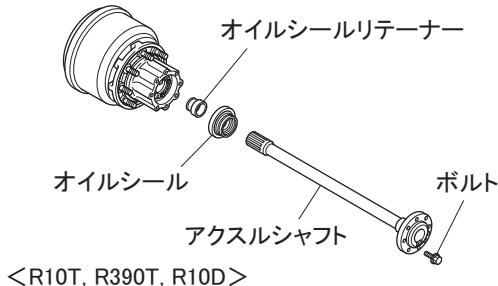
- (1.1) 車両が動かないよう固定した後、パーキングブレーキを解除してから作業を行う。
- (1.2) デフロック付はアクスルシャフトを取り外す前にリダクション&デファレンシャルのタペットスイッチとシールリングを外す。
- (1.3) タペットスイッチ穴にダミーボルト (M18×1.5: 首下長さ 50mm) をシリンダーが動かなくなるまで挿入する。



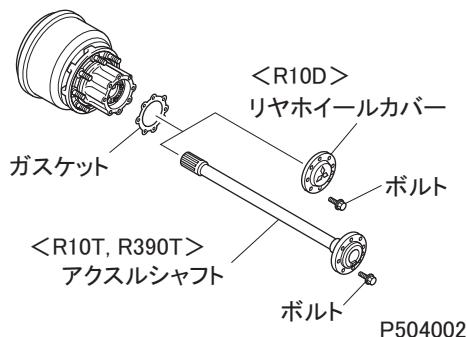
### (2) 取外し : アクスルシャフト

- (2.1) アクスルシャフト、オイルシール、オイルシールリテナーを取り外す。< R050T >

<R050T>



<R10T, R390T, R10D>

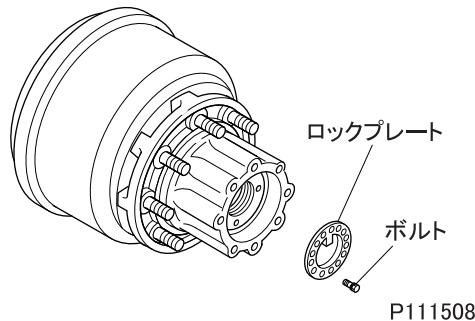


P504002

- (2.2) アクスルシャフト< R10T, R390T >, リヤホイールカバー< R10D >, ガスケットを取り外す。< R10T, R390T, R10D >

### (3) 取外し : ロックプレート

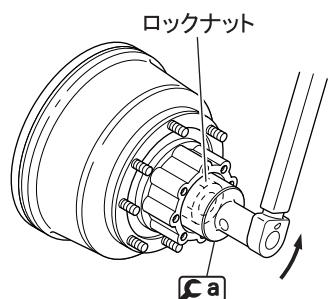
	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その2 ホイールハブ & ブレーキドラムの取外し・分解	



(4) 取外し : ロックナット

(4.1) [a]を使用してロックナットを取り外す。

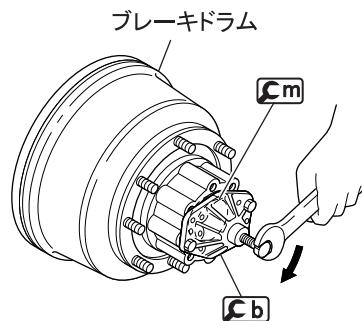
[a]	ソケットレンチ	< R050T > MH061597 < R10T, R10D, R390T > MH061536
-----	---------	--



P21534

(5) 取外し : ホイールハブ & ブレーキドラム

(5.1) ブレーキドラムに段付き摩耗がありホイールハブ & ブレーキドラムが外れない場合は次の要領で取外す。取り外し後、ブレーキドラムを修正または交換する。



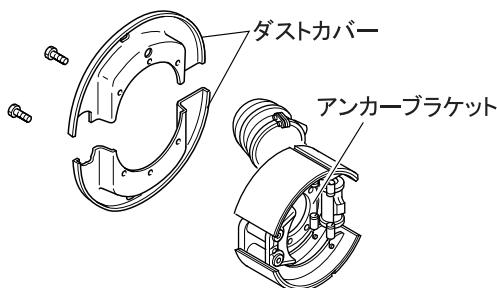
P21536

(5.2) [b]及び[m]を使用してホイールハブ & ブレーキドラムを取り外す。

[b]	ホイールハブプラー	< R050T > MH061458 < R10T, R10D, R390T > MH061433 または MH061458 または MH062145
-----	-----------	--

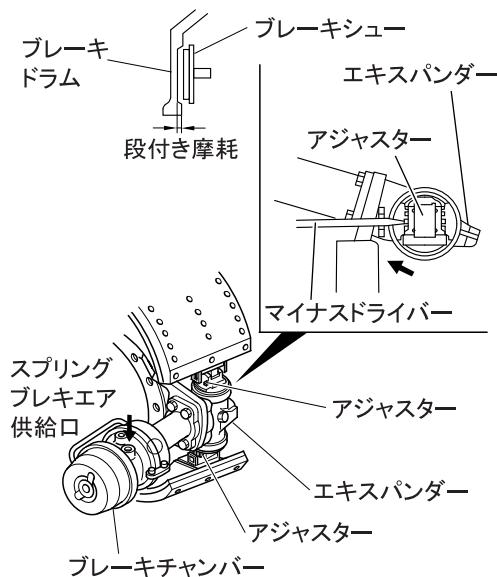
[m]	アダプター	< R050T > MH061962 < R10T, R10D, R390T > MH061103
-----	-------	--

(5.3) アンカーブラケット裏のダストカバーを取外す。



P113505

(5.4) スプリングチャンバー付はブレーキチャンバーのスプリングブレーキエア供給口に 640kPa {6.5kgf/cm<sup>2</sup>} のエア圧をかけスプリングブレーキを解放する。



P59605

(5.5) エキスパンダーのアジャスターをマイナスドライバー等で矢印方向に回し、ブレーキドラムとブレーキシューのすきまを広げ取外す。

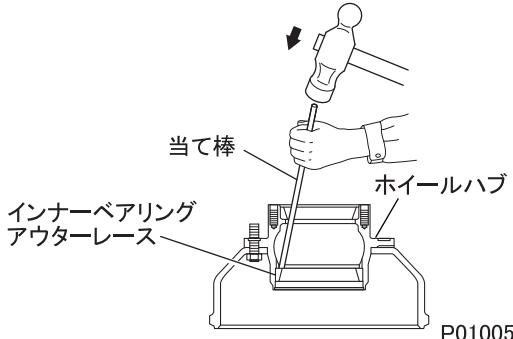
(5.6) アンカーブラケット裏のダストカバーを取付ける。

**△ 注意**

- マイナスドライバーを差し込むときはエキスパンダーのブーツを損傷させない。

(6) 取外し : インナーベアリングアウターレース

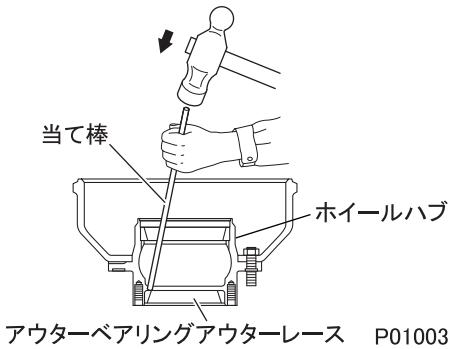
(6.1) インナーベアリングアウターレースをホイールハブの切り欠き部から、均等にたたいて取外す。



P01005

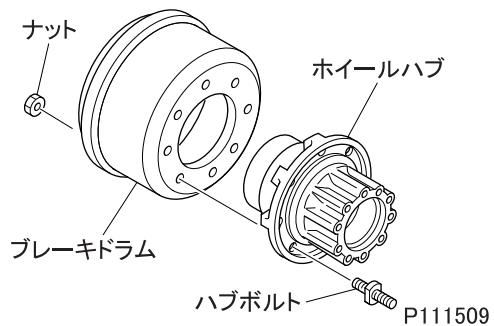
(7) 取外し : オウターベアリングアウターレース

(7.1) オウターベアリングアウターレースをホイールハブの切り欠き部から、均等にたたいて取外す。



(8) 取外し : ホイールハブ

(8.1) ホイールハブをブレーキドラムから取外す。



### その3 ブレーキライニングの点検

#### 点検要領

##### (1) ブレーキライニングの点検

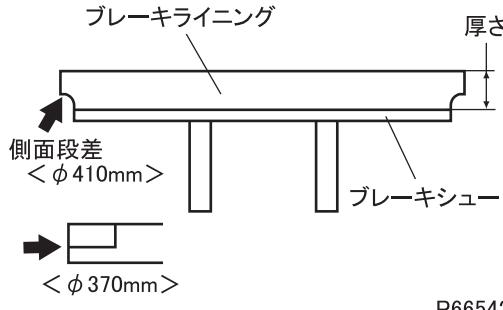
- (1.1) ブレーキライニングに異常な摩耗、損傷、はく離がないか目視などにより点検する。  
 (1.2) ブレーキライニングの厚みを測定する。

$\phi 370\text{mm}$  ドラム

基準値	15mm
限度	5mm(側面段差が摩耗限度)

$\phi 410\text{mm}$  ドラム

基準値	16mm
限度	6mm(側面段差が摩耗限度)



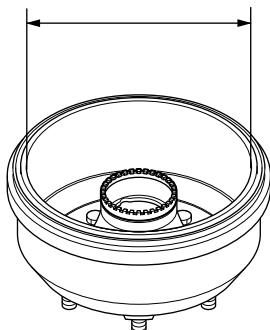
P66542

- (1.3) 側面段差まで摩耗している場合は、1軸単位でブレーキライニングを交換する。

## その4 ブレーキドラムの点検

## 点検要領

(1) ブレーキドラムを取り外し内面に異常な摩耗、き裂、損傷がないか点検する。



P113451

(2) 異常がある場合は、ドラムの内径と円筒度を測定し限度以上の場合は不良部品を交換する。

基準値	内径	$\phi 370\text{mm}$ ドラム	370mm
		$\phi 410\text{mm}$ ドラム	410mm
	円筒度		0.05mm
限度	内径	$\phi 370\text{mm}$ ドラム	372mm (修正限度 371mm)
		$\phi 410\text{mm}$ ドラム	414mm (修正限度 412mm)
	円筒度		0.2mm

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け	

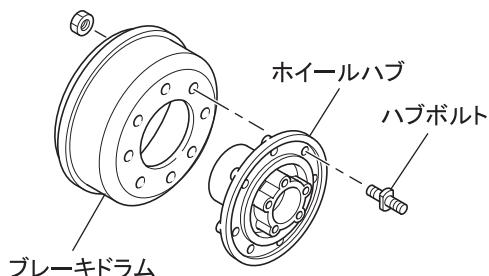
## その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け

<フロント>

(1) 取付け : ハブボルト

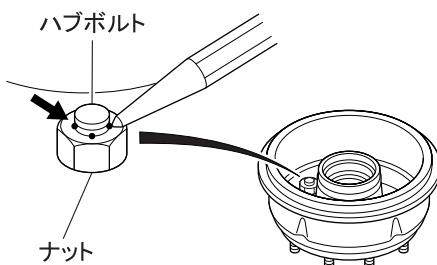
(1.1) ホイールハブをハブボルトとナットでブレーキドラムに取付ける。

締付けトルク	$422 \pm 63 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $43 \pm 6.4 \text{ kgf} \cdot \text{m}$ } < FS > $295 \pm 45 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $30 \pm 4.6 \text{ kgf} \cdot \text{m}$ } < FS 以外 >
--------	---



P111484

(1.2) ハブボルトはナットを締付け後、図示のように4個所を等分にカシメて回り止めする。

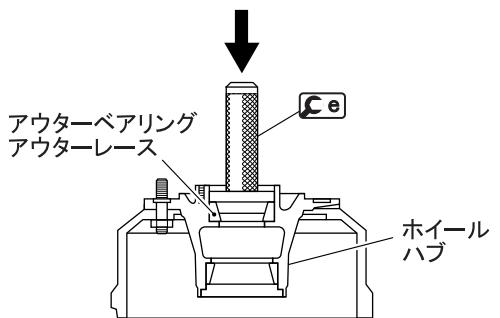


P13011

(2) 取付け : オウターベアリングアウターレース

(2.1) オウターベアリングアウターレースを [Ce] を使用して取付ける。

[Ce]	オウターベアリングインストラ	$< \text{FS} > 03724-63000$ $< \text{FS 以外} > 03723-23000$
------	----------------	---



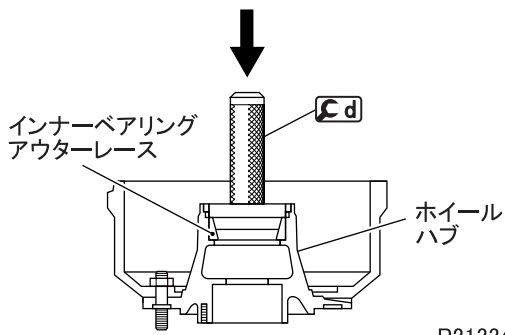
P21336

(3) 取付け : インナーベアリングアウターレース

(3.1) [Cd] を使用してインナーベアリングアウターレースを取付ける。

[Cd]	インナーベアリングインストラ	$< \text{FS} > 03724-62000$ $< \text{FS 以外} > 03723-22000$
------	----------------	---

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け	
--	--	--

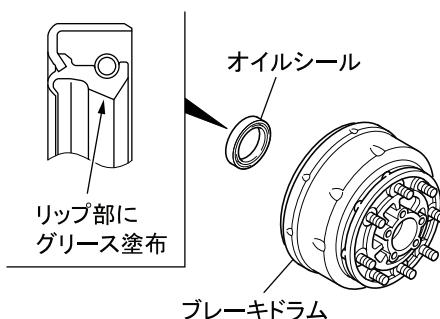


P21334

(4) 取付け : オイルシール

(4.1) オイルシールのリップ部に△aを充てんする。

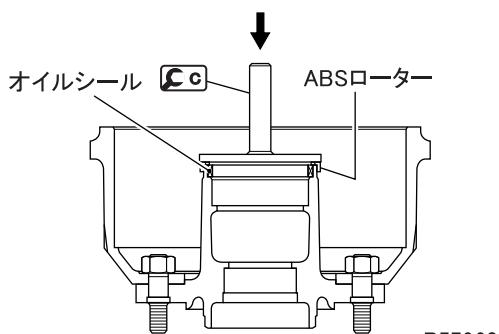
△a	三菱ホイールベアリンググリース
----	-----------------



P111485

(4.2) Ccを使用してオイルシールを取付ける。

Cc	ABS オイルシールインストラー	< FS > MH062738 < FS 以外 > MH062666
----	------------------	---------------------------------------



P57960

(5) ホイールハブ内側のグリース充てん

(5.1) 以下の要領1または2にてホイールハブ内側にグリースを充てんする。

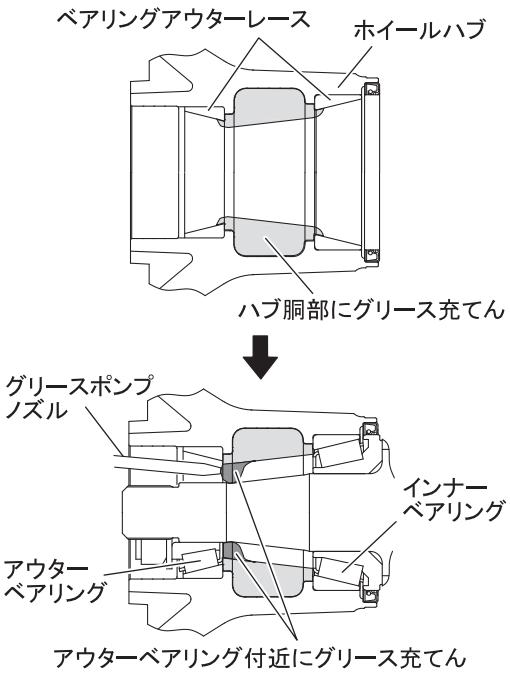
△ 注意 -

- 本充てん要領を実施しないと、ホイールハブベアリング焼き付き等が発生する場合がある。
- グリースは、計量カップ等を使用して規定量充てんする。
- 充てん要領1のハブをナックルへ取付け後(アウターベアリング付近)または充てん要領2のハブをナックルに取付ける前(ナックルスピンドル部)のグリース充てんはどちらか一方を行う。

(6) 取付け : ホイールハブ内側のグリース充てん<要領1>

(6.1) ハブ胴部にアウター及びインナーベアリングのアウターレースを覆うように△aを充てん(1輪につき 500g < FS >, 570g < FS 以外>)し、アウター及びインナーベアリングに△aが確実に達するようにする。

△a	三菱ホイールベアリンググリース
----	-----------------



P113306

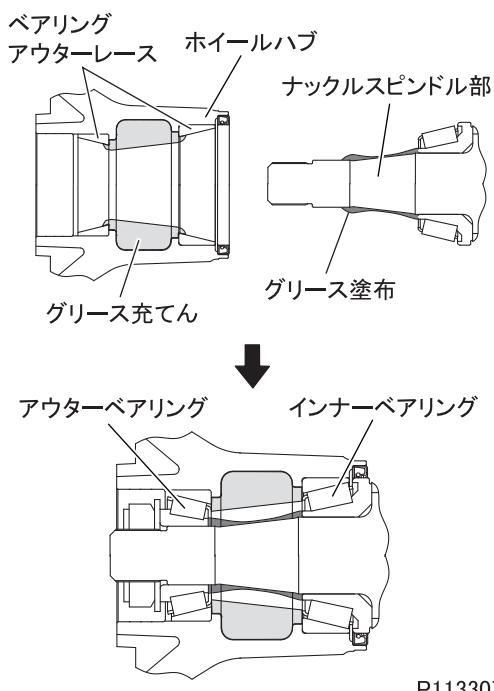
(6.2) ハブをナックルへ取付け後、アウターベアリングインナーレース取付け前にポンプノズルをハブ内に挿入してアウターベアリング付近に△aを充てん（1輪につき 165g < FS >, 90g < FS 以外>）する。

#### (7) 取付け：ホイールハブ内側のグリース充てん<要領2>

(7.1) ハブ胴部にアウター及びインナーベアリングのアウターレースを覆うように△aを充てん（1輪につき 500g < FS >, 570g < FS 以外>）し、インナーベアリングに△aが確実に達するようにする。

△a

三菱ホイールベアリンググリース



P113307

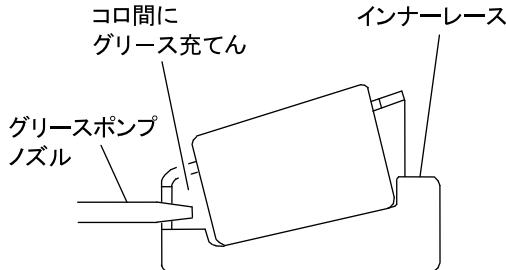
(7.2) ハブをナックルに取付ける前に、ナックルスピンドル部に△aを塗布（1輪につき 165g < FS >, 90g < FS 以外>）する。

#### (8) 取付け：アウターベアリングインナーレースのグリース充てん

(8.1) アウターベアリングインナーレースのコロ間にグリースポンプノズルを差しこみ、△aを十分充てんする。

△a

三菱ホイールベアリンググリース



P113299

## (9) 取付け : ホイールハブ &amp; ブレーキドラム

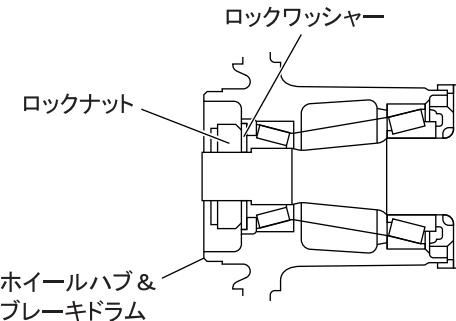
(9.1) ホイールハブ &amp; ブレーキドラムをナックルに取付ける際、ABS ローター及びオイルシールを損傷させない。

## (10) 調整 : ホイールハブベアリングの起動トルク

**△ 注意**

- 本調整要領を実施しないと、ホイールハブベアリング焼き付き等が発生する場合がある。

(10.1) ロックナットを仮締めし、ブレーキドラムとブレーキシューに引きずりがないことを確認する。



P02969

(10.2) 引きずりがある場合は、エキスパンダーのアジャスターで調整する。(35-460 参照)

(10.3) ホイールハブ &amp; ブレーキドラムを回転させながらロックナットを徐々に締付けていく。締付けは、ホイールハブ &amp; ブレーキドラムが3回転以上した時点で規定トルクに到達するように行う。

締付けトルク

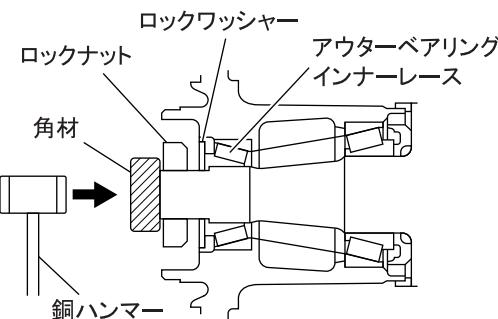
200N·m {20kgf·m}

(ねじ戻し角度 : 30° (1/12回転) &lt; FS &gt;, 22.5° (1/16回転) &lt; FS 以外 &gt; )

**△ 注意**

- ロックナットは、ホイールハブ & ブレーキドラムを回転させずに締付けたり、3回転未満で規定トルクまで締付けたりしない。これらを怠ると、アウター及びインナーベアリングの取付け状態が不良となり回転不良、焼き付きなどの原因になる。

(10.4) アウターベアリングインナーレースをロックナット側に寄せるため、次の作業を行う。



P113331

(10.5) ロックナットを緩め、アウターベアリングインナーレースとロックナット間にすきまを作る。

(10.6) アクスルハウジングの端面に角材を当て、ホイールハブ &amp; ブレーキドラムを回転させながら2~3回たたく。

(10.7) ★再びロックナットを締付け後、下記のとおりねじ戻す。

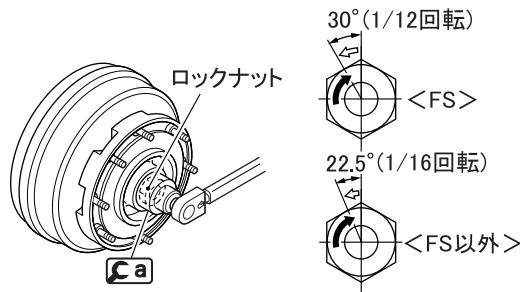
ねじ戻し角度 :

30° (1/12回転) &lt; FS &gt;

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け	

22.5° (1/16回転) <FS以外>

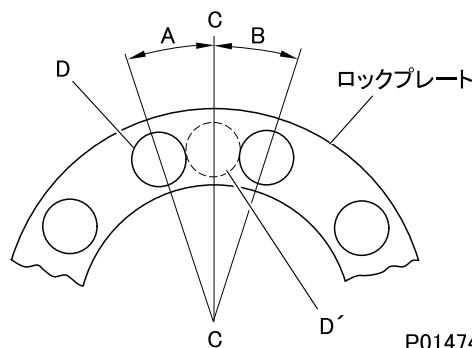
締付けトルク	200N·m {20kgf·m}
--------	------------------



P21324

(10.8)ロックプレートを組み込みロックナットとロックプレートのボルト取付け穴が全数合うことを確認し、取付けボルトを締付ける。

締付けトルク	9±2N·m {0.9±0.2kgf·m}
--------	-----------------------

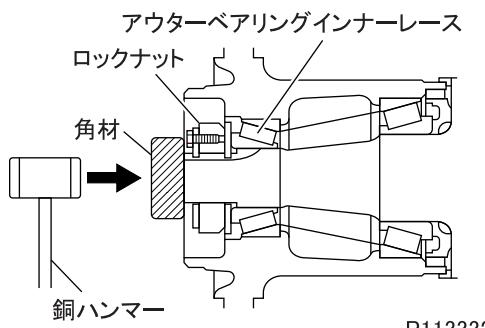


P01474

(10.9)ロックナットとロックプレートの取付け穴が合わない場合は下表の要領で合わせる。

ロックナットの穴の位置	ロックプレートの穴の合わせ方
A の範囲	ロックナットを緩める方向に回して合わせる。
B の範囲	ロックプレートを裏返して取付け直し、さらにロックナットを緩める方向に回して合わせる。
C-C 線上	ロックプレートを裏返して取付け直す。(穴の位置から D' から D となる)

(10.10)再度アウターベアリングインナーレースをロックナット側に寄せるため、次の作業を行う。



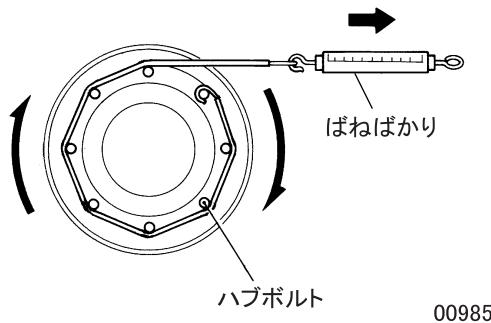
P113332

(10.11)ナックルスピンドルの端面に角材を当て、ホイールハブ&ブレーキドラムを回転させながら2~3回たたく。  
(10.12)軸方向にガタがないことを確認する。

(11)点検：接線力の測定

(11.1)ロックナット取付け後、ばねばかりを使用してハブボルトでの接線力を測定する。

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け	
--	--	--



(11.2)接線力が基準値であれば起動トルクは基準値となる。

基準値	2.5 ~ 5.5N · m {0.25 ~ 0.55kgf · m} (接線力 : 19 ~ 40N {1.9 ~ 4.0kgf} < 8本スタッド>, 15 ~ 32N {1.5 ~ 3.3kgf} < 10本スタッド>)
-----	--

(11.3)測定値が基準値を外れる場合は、ロックナットの調整が不十分な可能性があるため、★印の項目から作業をやり直す。

(11.4)この結果、異常がある場合はアウターベアリングを交換する。

(12)取付け：ホイールハブ外側のグリース充てん

#### △ 注意

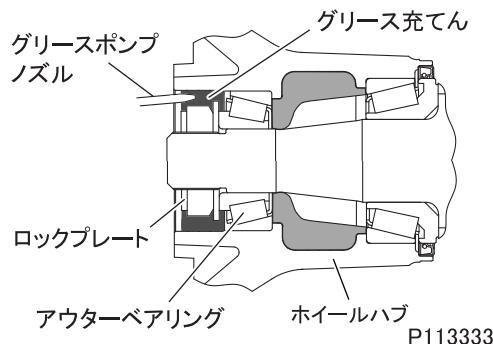
- 本充てん要領を実施しないと、ホイールハブベアリング焼付き等が発生する場合がある。
- グリースは、計量カップ等を使用して規定量充てんする。

(12.1)アウターベアリング外側に壁ができるようにグリースポンプノズルでロックプレートまで△aを充てん(1輪につき 150±10g)する。

△a	三菱ホイールベアリンググリース
----	-----------------

#### △ 注意

- ホイールハブカバーにグリースを盛る方法にて行うと、アウターベアリングにグリースが届かず、ベアリングの潤滑不良となるため行わない。



(13)取付け：ホイールハブカバー

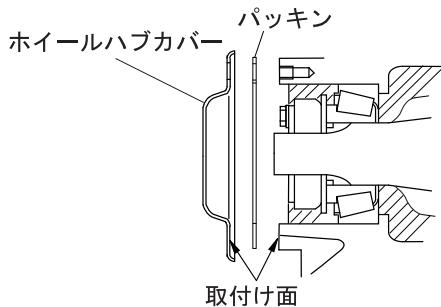
(13.1)ホイールハブカバーの取付け面にグリースが付着しないようにして、ホイールカバーとパッキンをボルトで取付ける。

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け	

締付けトルク	$30 \pm 4 \text{N} \cdot \text{m}$ { $3.06 \pm 0.45 \text{kgf} \cdot \text{m}$ }
--------	--

**△ 注意**

- ホイールハブとの取付け面にグリースが付着すると、水浸入及びグリース漏れの原因となる。



P502807

**くりや**

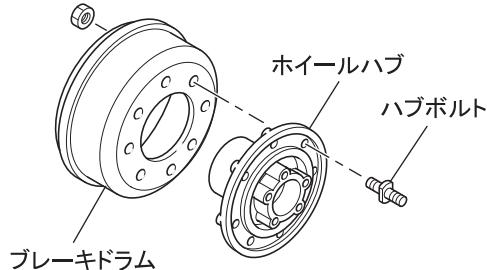
(1) 取付け : ハブボルト

- (1.1) ホイールハブをハブボルトとナットでブレーキドラムに取付ける。

締付けトルク	$422 \pm 63 \text{N} \cdot \text{m}$ { $43 \pm 6.4 \text{kgf} \cdot \text{m}$ } < R050T >
--------	---

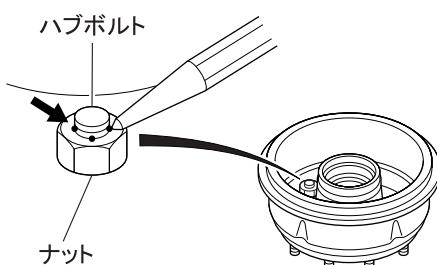
$295 \pm 45 \text{N} \cdot \text{m}$ { $30 \pm 4.6 \text{kgf} \cdot \text{m}$ }
---

< R10T, R390T, R10D >
-----------------------



P111484

- (1.2) ハブボルトはナットを締付け後、図示のように4箇所を等分にカシメて回り止めする。



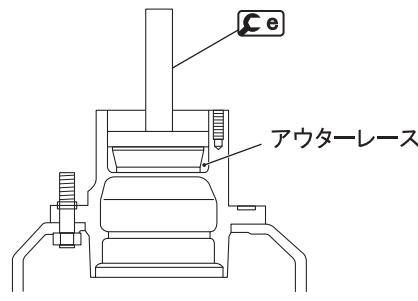
P13011

(2) 取付け : アウターベアリングアウターレース

- (2.1) **Ce**を使用してアウターベアリングアウターレースを取付ける。



	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け	

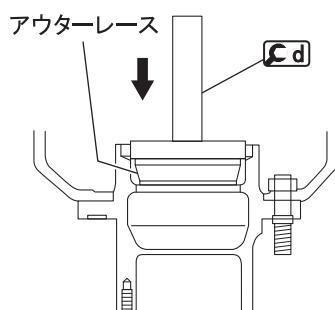


P01004

(3) 取付け : インナーベアリングアウターレース

(3.1) **C d**を使用してインナーベアリングアウターレースを取付ける。

<b>C d</b>	ホイールハブインナーベアリングインストラ	< R050T > MH061010 < R10T, R10D > 03723-21000 < R390T > 03724-25000
------------	----------------------	--

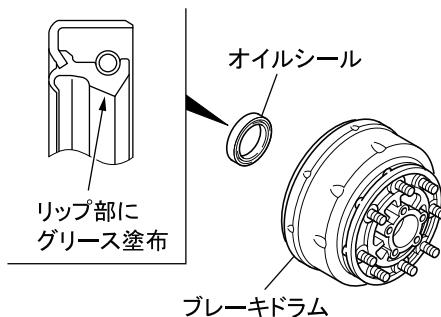


P59614

(4) 取付け : オイルシール

(4.1) オイルシールのリップ部に**A a**を充てんする。

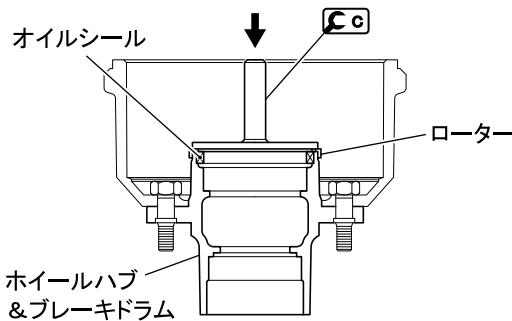
<b>A a</b>	三菱ホイールベアリンググリース
------------	-----------------



P111485

(4.2) ホイールハブ & ブレーキドラムを取り外して整備した場合、ローターが圧入されている状態でオイルシールを圧入するときは**C c**を用いて行う。

<b>C c</b>	オイルシールインストラー	< R050T > MH062690 < R10T, R10D, R390T > MH062057
------------	--------------	--



P02994

(4.3) オイルシールはリップ部に△aを塗布し、ホイールハブ & ブレーキドラムに取付ける。

<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">△a</span>	三菱ホイールベアリンググリース
--	-----------------

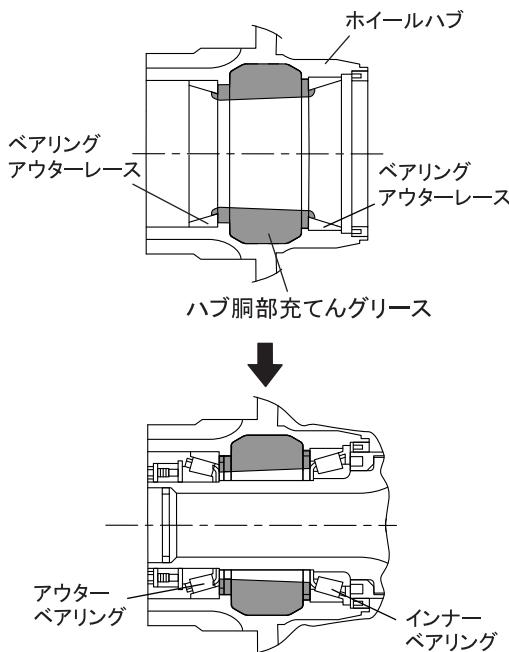
(5) 取付け：ホイールハブ内側にグリース充てん

(5.1) ホイールハブの内側に△aを充てんする。

<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">△a</span>	三菱ホイールベアリンググリース
--	-----------------

#### △ 注意

- 本充てん要領を実施しないと、ホイールハブベアリング焼き付き等が発生する場合がある。
- グリース量については、計量カップ等を使用して規定量充てんする。



P105086

(5.2) 図のようにハブ胴部へアウターべアリングとインナーベアリングのアウターレースを覆うように△aを充てん（1輪につき 280g<R050T>, 1100 g <8 スタッド (R10T, R390T, R10D) >, 2000 g <10 スタッド (R10T, R390T, R10D) >）し、アウターべアリングとインナーベアリングに△aが確実に達するようにする。

(6) 取付け：ホイールハブ & ブレーキドラム< R10T, R390T >

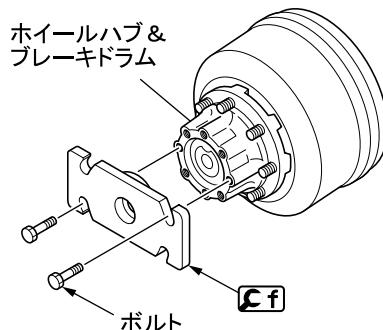
(6.1) △fをボルトを2個使用してホイールハブ & ブレーキドラムに取付ける。

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け		

	ABS ハブストッパー	< R10T, R390T > MH062058
--	-------------	-----------------------------

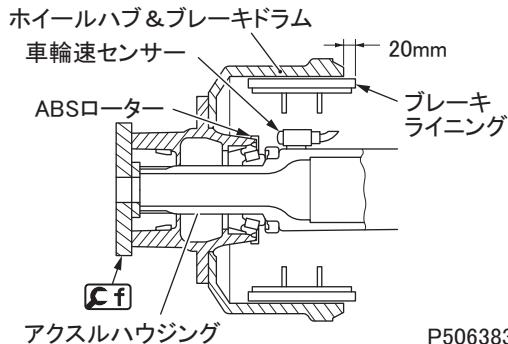
△ 注意

- ホイールハブ & ブレーキドラムをアクスルハウジングに取付ける際、ローター及びオイルシールを損傷させない。

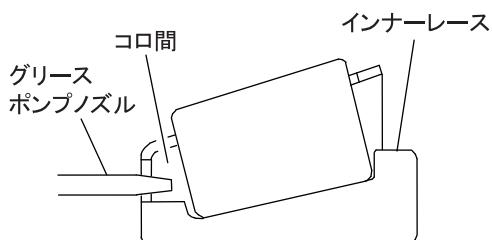


P04680

(6.2) がアクスルハウジング端面に当たるまで、ホイールハブ & ブレーキドラムを挿入する。



P506383



P01000

(6.3) を取り外す。

(6.4) を用いないでホイールハブ & ブレーキドラムを取付けるときは、ガタつかせず図示のようにブレーキライニングがブレーキドラム端面から約 20mm ぐらい出る所で一旦止めておく。

(6.5) アウターベアリングインナーレースのコロ間にグリースポンプノズルを差し込み、を十分充てんしアクスルハウジングに取付ける。

	三菱ホイールベアリンググリース
--	-----------------

(6.6) ロックワッシャー及びロックナットを取り付け、ABS ローターが車輪速センサーに当たるまでロックナットをゆっくり締付ける。

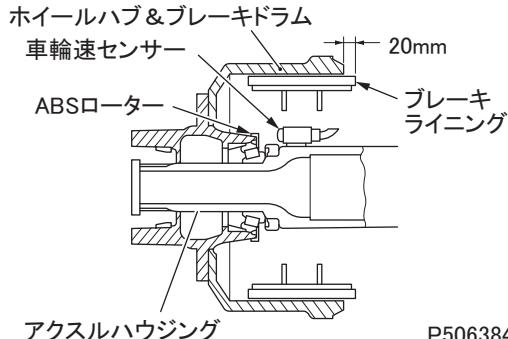
(6.7) ホイールハブ & ブレーキドラム取付け後、ブレーキシュークリアランスを調整する。(35-225 参照)

(7) 取付け：ホイールハブ & ブレーキドラム< R050T >

(7.1) ホイールハブ & ブレーキドラムは、ガタつかせず図示のようにブレーキライニングがブレーキドラム端面から約20mmぐらい出る所で一旦止めておく。

**△ 注意**

- ホイールハブ & ブレーキドラムをアクスルハウジングに取付ける際、ローター及びオイルシールを損傷させない。

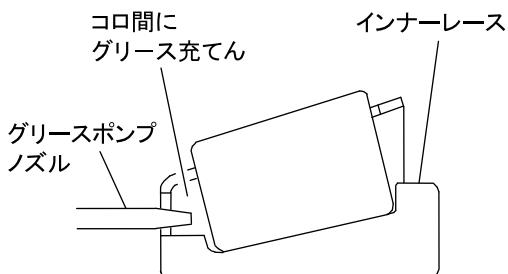


P506384

(7.2) オウターベアリングインナーレースのコロ間にグリースポンプノズルを差し込み、**[△a]**を十分充てんしアクスルハウジングに取付ける。

**[△a]**

三菱ホイールベアリンググリース



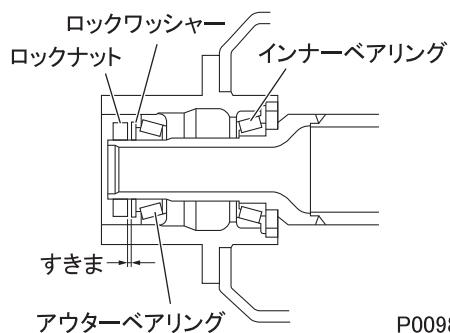
P113299

(7.3) ロックワッシャー及びロックナットを取付け、ABSローターが車輪速センサーに当たるまでロックナットをゆっくり締付ける。

(7.4) ホイールハブ & ブレーキドラム取付け後、ブレーキシュークリアランスを調整する。

(8) 調整：ホイールハブベアリングの起動トルク

(8.1) ロックワッシャーとロックナットを取付ける。



P00980

(8.2) ホイールハブ & ブレーキドラムを3回以上回転させてアウターベアリング及びインナーベアリングをなじませる。

(8.3) **[△a]**を使用してロックナットを締付ける。

**[△a]**

ソケットレンチ

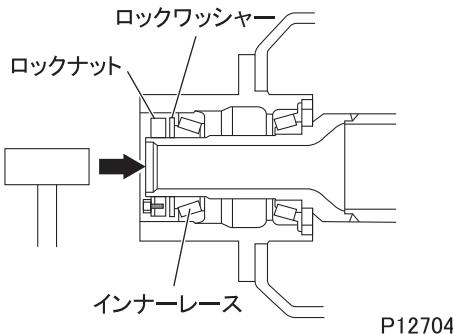
< R050T >  
MH061597  
< R10T, R10D, R390T >  
MH061536

締付けトルク

255N · m[26kgf · m] < R050T >  
300N · m[30kgf · m] < R10T, R390T, R10D >

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ ブレーキ摩耗点検方法 その5 ホイールハブ & ブレーキドラムの組み立て・取付け	
--	--	--

- (8.4) ロックナットとロックワッシャーの間にすきまができるまでロックナットを緩める。  
 (8.5) オウターベアリングインナーレースをロックナット側に寄せるため、次の作業を行う。

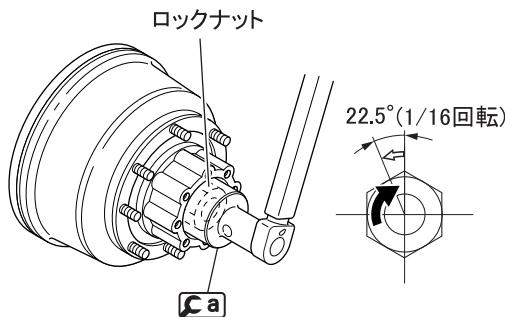


P12704

(8.6) ホイールハブ & ブレーキドラムを回転させながらアクスルチューブ端面を2~3回たたく。

(8.7) 再び **[a]** を使用してロックナットを締付け後、 $22.5^\circ$  (1/16回転)ねじ戻す。

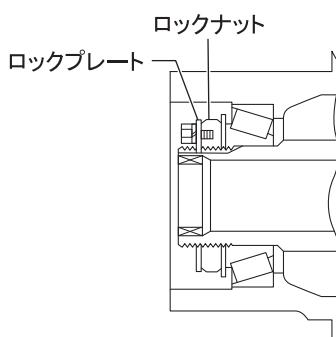
締付けトルク	255N · m [26kgf · m] < R050T > 300N · m [30kgf · m] < R10T, R390T, R10D >
--------	--



P21531

(8.8) ロックプレートを組み込みロックナットとロックプレートのボルト取付け穴が全数合うことを確認し、取付けボルトを締付ける。

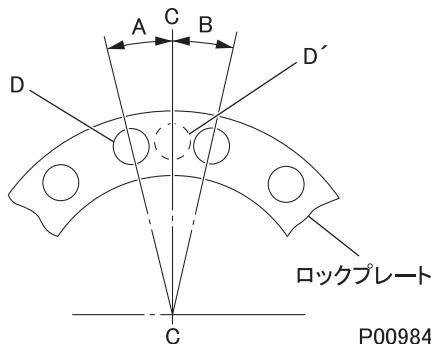
締付けトルク	$9 \pm 2 N \cdot m$ [0.9 $\pm$ 0.2 kgf · m]
--------	---



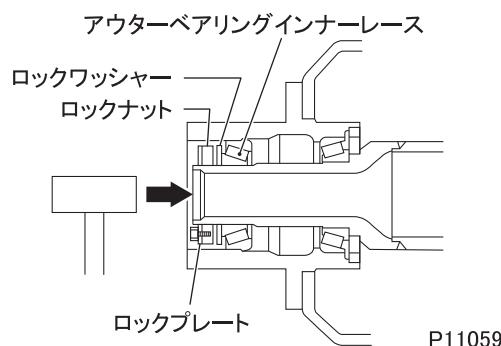
P00983

(8.9) ロックナットとロックプレートの取付け穴が合わない場合は下表の要領で合わせる。

ロックナットの穴の位置	ロックプレートの穴の合わせ方
Aの範囲	ロックナットを緩め、穴合わせをする
Bの範囲	ロックプレートを裏返しにしてロックナットを緩め、穴合わせをする
C-C 線上	ロックプレートを裏返しにして合わせる(穴の位置がD'からDとなる)



(8.10)再度アウターベアリングインナーレースをロックナット側に寄せるため、次の作業を行う。

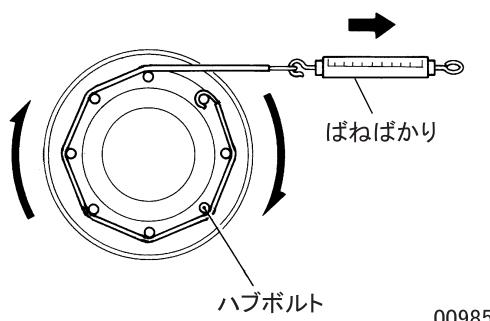


(8.11)ホイールハブ & ブレーキドラムを回転させながらアクスルチューブ端面を2~3回たたく。

#### (9) 点検 : 接線力の測定

(9.1)調整後、ハブボルトにばねばかりを取り付けて接線力を測定する。

基準値	3.9 ~ 6.9 N · m {0.40 ~ 0.70kgf · m} (接線力 : 27 ~ 48N {2.8 ~ 4.9kgf}) < R050T > 2.5 ~ 5.5 N · m {0.25 ~ 0.55kgf · m} (接線力 : 18 ~ 38N {1.8 ~ 3.9kgf} < 8本スタッド >, 15 ~ 32N {1.5 ~ 3.3kgf} < 10本スタッド >) < R10T, R390T, R10D >
-----	---



(9.2)接線力が基準値であれば、起動トルクは基準値となる。

(9.3)接線力が基準値にならない場合は再度起動トルクの調整を行う。

(9.4)測定値が基準値を外れる場合は(15.7)の項目から作業をやり直す

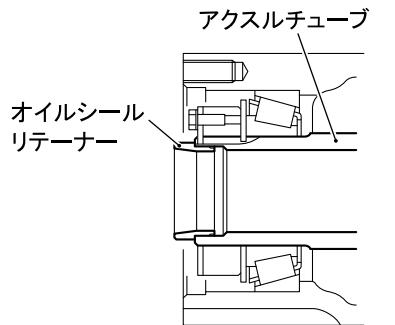
(9.5)この結果異常がある場合は、アウターベアリング及びインナーベアリングを交換する。

#### △ 注意

- 起動トルクはオイルシールを取付けた状態で測定する。
- ブレーキライニングとブレーキドラムに引きずりがないことを確認し測定する。

(10)取付け : オイルシールリテナー< R050T >

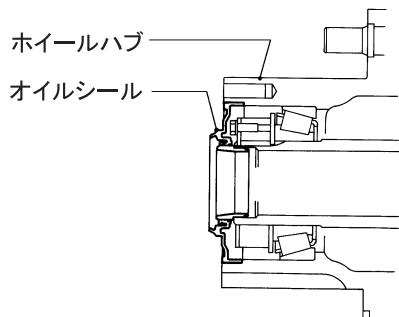
(10.1)オイルシールリテナーをアクスルチューブの端面まで取付ける。



P02176

## (11)取付け : オイルシール &lt; R050T &gt;

(11.1)オイルシールをホイールハブの端面まで均等に取付ける。



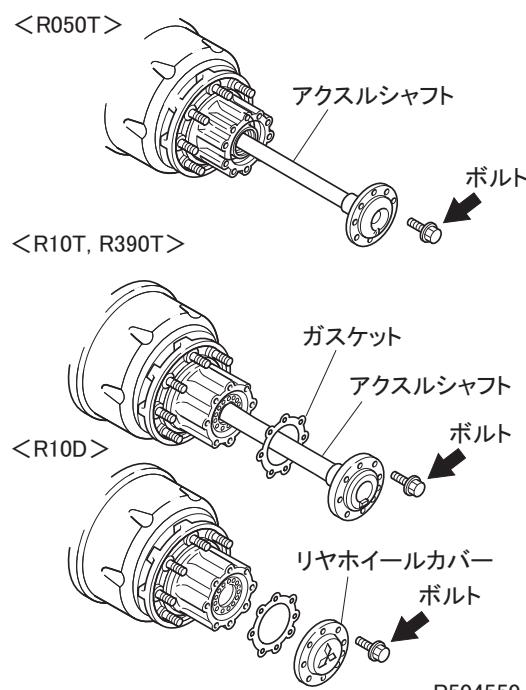
112366

## (12)取付け : アクスルシャフト (R10D はリヤホイールカバー)

(12.1)アクスルシャフト (R10D はリヤホイールカバー) を取付け、ボルトを締付ける。

締付けトルク

締付けトルク	108N · m[11.0kgf · m] < R050T > 272N · m[27.7kgf · m] < R10T, R390T > 87N · m[8.9kgf · m] < R10D >
--------	--



P504550

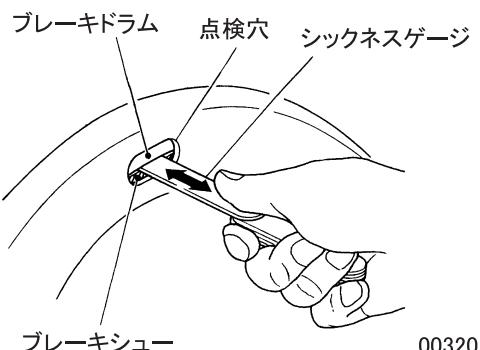
## その6 ブレーキシュークリアランスの調整

### (1) ブレーキシュークリアランスの点検

(1.1) ブレーキペダルを2~3回踏み込みブレーキシューをなじませ適切な点検状態にする。

(1.2) ダストカバーのチェックホールプラグを取り外し、点検穴からシックネスゲージを差し込み、ブレーキシュークリアランスを測定する。やや抵抗を感じながら抜き差しできる状態がブレーキシュークリアランスである。

基準値	0.3 ~ 0.8mm
-----	-------------



00320

(1.3) 測定値が基準値を外れる場合は調整する。

### (2) ブレーキシュークリアランスの左右の差の点検

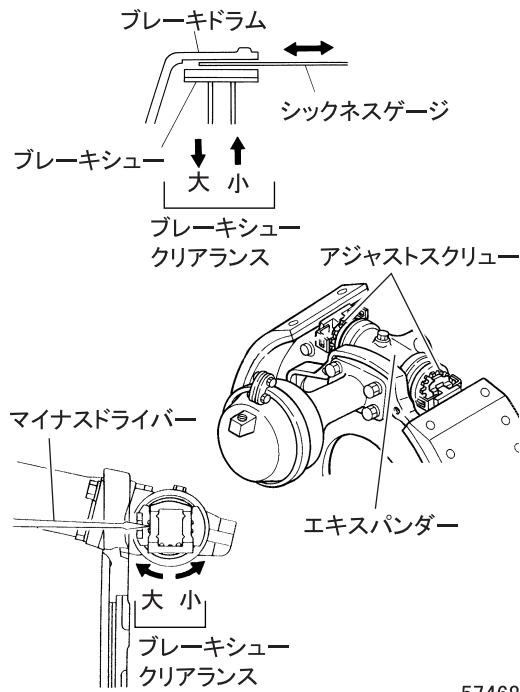
(2.1) ブレーキシュークリアランスの左右の差が基準値以内であることを確認する。

基準値	0 ~ 0.3mm
-----	-----------

(2.2) 測定値が基準値を外れる場合は調整する。

### (3) ブレーキシュークリアランスの調整

(3.1) 調整する車輪をジャッキアップし、ホイールハブベアリングにガタがないことを確認する。



57468

(3.2) 1輪2箇所の点検穴から0.3~0.8mmのシックネスゲージを差し込み、やや抵抗を感じながら抜き差しきる程度までエキスパンダーのアジャストスクリューを回す。このとき、左右の差は基準値以内とする。

(3.3) 再度点検を行い異常がある場合はエキスパンダーを分解し点検する。

(3.4) 調整終了後、必ずチェックホールプラグを取付ける。

#### △ 注意

- マイナスドライバーを差し込むときはエキスパンダーのブーツを損傷させない。
- ブレーキシュークリアランスが基準値内であるか確認する。基準値より小さいとブレーキの引きずり、大きいと制動力の低下となる。

## その7 ホイール &amp; タイヤの取付け

## 取付 要領

## △警告

- JIS 方式の 8 本ボルトディスクホイールは絶対に使用しない。
- JIS 方式のディスクホイールとホイールナットでは十分な締付トルクが得られず、脱輪(タイヤの脱落)の原因になり、脱輪は路上故障や他の交通の妨げとなるばかりでなく、場合によっては重大な事故につながるおそれがある。

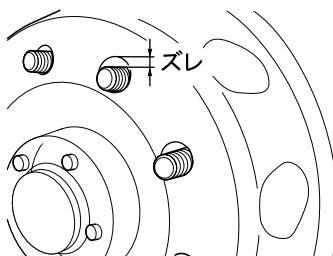
## △注意

- 本車両のディスクホイールは、新・ISO 方式のため新・ISO 方式の 8 本のボルトディスクホイールまたは、10 本のボルトディスクホイールを使用する。JIS 方式のホイールナット及びディスクホイールは絶対に使用しない。
- ディスクホイールをスチールホイールまたはアルミホイールに交換するときは、必ずホイールに合ったハブボルトを使用する。不適切なハブボルトを使用すると締付け力が不十分となり、脱輪を起こすおそれがある。
- ホイールナットは、左右輪とも右ねじ(ボルトに R マークの表示)。
- 二硫化モリブデン入りグリースは、使用すると過大な締付けトルクになりホイールボルトの折損やディスクホイールのナット座面が変形し、脱輪を起こすおそれがあるので絶対に使用しない。
- ハブボルトの損傷やホイールナットの緩みの原因となるので、ホイールナットは必ず純正品を規定トルクで締付ける。
- アルミホイール装着車へ一時的にスチールホイールを装着する際は、ホイールから露出したボルトねじ部にシャシーグリースまたはホイールベアリンググリースを塗布する。

## (1) 取付け：ホイール &amp; タイヤ

## △注意

- 誤って JIS 方式の 8 本ボルトディスクホイールを取付けるとホイールボルトがディスクホイールボルト穴の中心からずれるので、JIS 方式は絶対に使用しない。

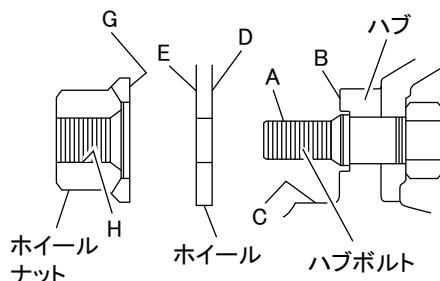


P112677

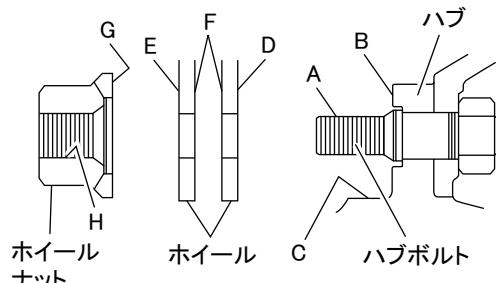
(1.1) 各部の緩み、損傷を防止するため次の部位を清掃し、さび、ゴミ、追加塗装、異物等を取り除く。

- A : ハブボルトのねじ部
- B : ハブのホイール取付け面
- C : ハブのホイールインローポート
- D : ディスクホイールのハブ取付け面
- E : ディスクホイールのホイールナット取付け面
- F : ディスクホイールの合わせ面
- G : ホイールナットの平面部
- H : ホイールナットのねじ部

## &lt;シングルタイヤ&gt;



## &lt;ダブルタイヤ&gt;



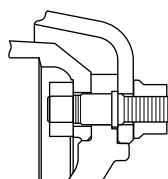
507197

(1.2) スチールホイールとアルミホイールでは使用するハブボルトの長さが異なるため、それに合ったハブボルトを使用する。

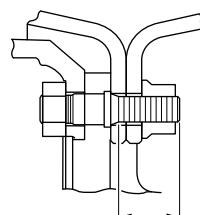
A : ハブボルトねじ長さ

部位		アルミホイール用	スチールホイール用
A	フロントシングルタイヤ	約 42mm < FS > 約 45mm < FS 以外 >	約 34mm
	リヤシングルタイヤ	約 50mm	—
	ダブルタイヤ	約 57mm	約 50mm

## &lt;シングルタイヤ&gt;



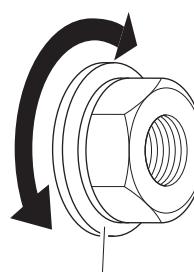
## &lt;ダブルタイヤ&gt;



A

P112272

(1.3) ホイールナットのワッシャー回転具合を点検する。スムーズに回転しない場合は、ホイールナットを交換する。



P121470

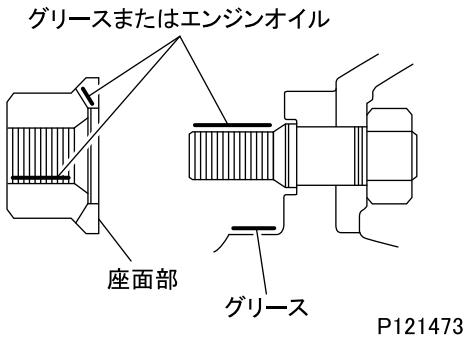
(1.4) 図示部に 図示部 を塗布する。

△a

三菱シャシーグリース、三菱ホイールベアリンググリースまたはふそうエンジンオイル

**△ 注意**

- ニ硫化モリブデン入りグリースは、使用すると過大な締付けトルクとなるので絶対に使用しない。
- ホイールナットの座面にグリースまたはエンジンオイルを塗布すると過大な締付トルクとなるので絶対に塗布しない。



(1.5) タイヤを取り付ける。ホイールナットを締付ける。

締付けトルク

550 ~ 600N · m {55 ~ 60kgf · m}

	ブレーキ摩耗点検方法およびブレーキシステムに関するデータ	
	ブレーキシステムに関するデータ	

## 6. ブレーキシステムに関するデータ

### 空気圧特性データ

コンプレッサー / アンローダーバルブ	最大カットアウト圧	1330 kPa
	最小カットイン圧	1070 kPa
プロテクションバルブ 静的閉弁圧	主ブレーキ	≥ 650 kPa
	駐車ブレーキ	≥ 450 kPa
	補機	≥ 450 kPa
計算用主ブレーキ最小設計エア圧		1000 kPa

### 基準制動力計算式

$$F = 2 \times C \times (P - 40) / R$$

記号	定義	単位	備考
F	1軸あたりの基準制動力	N	-
C	係数	Nm/kPa	表 1 参照
P	エア圧	kPa	-
R	タイヤ動荷重半径	m	表 2 参照

表 1 ; 係数 C (Nm/kPa)

車両型式	FU70-Y	FU74-Y, FV-X/Y	FU-Z, FV-Z	FY	FS	FP-R	FV-R
前軸又は前前軸	18.63	18.63	22.02	22.02	16.00	22.02	22.02
前後軸	-	-	-	-	16.00	-	-
後軸又は後前軸	22.02	22.02	22.02	16.00	16.00	22.02	22.02
後後軸	18.63	22.02	22.02	16.00	16.00	-	22.02

表 2 ; タイヤ動荷重半径 R (m)

タイヤサイズ	前軸、前前軸、前後軸	後軸、後前軸、後後軸
245/70R19.5	0.406	0.407
265/70R19.5	0.420	0.421
275/70R22.5	0.464	0.465
275/80R22.5	0.490	0.491
295/70R22.5	0.478	0.479
295/80R22.5	0.504	0.505
315/80R22.5	0.519	0.520
455/55R22.5	0.517	0.518
11R22.5	0.507	0.508

**三菱ふそうトラック・バス株式会社**

© 2017 Mitsubishi Fuso Truck and Bus Corporation. All rights reserved.